

⚠ 安全に関するご注意

- 専用電気工事が必要な場合があります。取付工事は、必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は、法で禁じられています。素人工事をおこないますと、感電、火災の原因となることがあります。

このミニレールシステムは給電レール RLC とミニレールスポット R-EX(LED モジュール)を組み合わせて使用する屋内用製品です。

安全上の注意

⚠ 警告

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 取り付け工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。 ● 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 必要な作業以外の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 取り付け工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。 ● 給電レールの取り付けは、給電レールとLEDモジュール(別売)の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。 ● 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと感電、火災の原因となります。 ● 定格電流以下の負荷で使用してください。感電、火災の原因となります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● LEDモジュール(別売)に内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。 ● 紙や布や断熱材などでおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。 ● ミニレールシステムの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。 ● 傷んだり変形した給電レールは使用しないでください。感電、火災の原因となります。 ● 適合直流電源装置(別売)以外は使用しないでください。LEDモジュール(別売)の破損、発煙、点灯回路損傷の原因となります。(適合直流電源装置:ELD2475F) |

⚠ 注意

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 床、什器等の清掃の際は、給電レールやLEDモジュール(別売)に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。 ● 強い衝撃を与えないでください。故障、落下、感電、火災の原因となることがあります。 ● 引火する危険性の雰囲気(ガスボンベ、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。 ● 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。 ● 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。 ● 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。 ● 可燃性造営材に取り付ける場合にはLEDモジュール(別売)との間隔をとってください。火災の原因となることがあります。 ● 給電レールは、付属のレール留め具を使用してねじで確実に固定してください。落下の原因となることがあります。 ● LEDモジュール(別売)を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● LEDモジュール取り付け時は、給電レールへ確実に取り付けてください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。 ● 濡れた手でLEDモジュール(別売)を脱着しないでください。感電の原因となることがあります。 ● 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。 ● LEDモジュール(別売)の温度上昇は収納部の容積やLEDモジュールと周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。 ● 給電レールやLEDモジュール(別売)に塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。 ● 点灯中や消灯後しばらくは、LEDモジュール(別売)が熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。 ● 誤って落下させたLEDモジュール(別売)は使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。 ● ミニレールシステムを天井や高所に取り付けしないでください。故障、落下によるケガの原因となることがあります。 ● 点灯しているLEDモジュール(別売)を長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。 ● 取付工事の際、塗料や接着剤の液状成分、金属粉等が給電レール内部に入らないよう注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 給電レールの長さを調節するときは、端部処理用エンドキャップを必ず装着してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 |
|---|--|

ご使用上の注意

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。LEDモジュール(別売)の短寿命、不点灯、チラツキの原因となることがあります。 ● 点灯および消灯直後にLEDモジュール(別売)からの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。 ● 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。 ● 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュール(別売)の光が入らないよう配慮してください。 ● 給電レールやLEDモジュール(別売)を並列に取り付ける場合は、LEDモジュール1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。 ● 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じる場合があります。 ● ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときはLEDモジュール(別売)から1m以上離して使用してください。 ● LED素子にはパツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 交換の際はLEDモジュール(別売)ごと交換してください。LED素子単体では交換できませんのでご注意ください。 ● 調光器との併用はできません。 ● LED素子は、経時的に光色、明るさのパツキが発生する場合があります。ご了承ください。 ● 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。 ● 給電レールやLEDモジュール(別売)の自重によるソリを防ぐよう、レール留め具を配置してください。 ● 磁石をパソコンやディスプレイ、時計などの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。 ● 磁石に磁気カードやメモリー等の電子記憶媒体などを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。 ● 通電したままLEDモジュール(別売)を脱着しないでください。直流電源装置、LEDモジュール故障の原因となることがあります。 ● 什器等の絶縁性能試験を実施する際は、LEDモジュール(別売)を必ず取り外しておこなってください。LEDモジュールが故障します。 ● 接続する電線は取扱説明書にしたがってください。 |
|---|---|

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置、ランプ、モジュール含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C 8105-1解説による)
- ※LED光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至るおそれがあります。

定格 給電レールRLC

形式※1	全長 L(mm)	定格電圧 (V)	定格電流 (A)	A(mm) 裏面参照	本体質量 (kg)	取付ねじ(ヶ) (付属品)	レール留め具(ヶ) (付属品)	直流電源装置(別売)および LEDモジュール入力電力の最大使用可能W数	
								ELD2475F※2	
RLC550W(BK)	550	DC24	2.2	25	0.13	3	3	52Wまで	
RLC850W(BK)	850			50	0.20	4	4		
RLC1150W(BK)	1150			75	0.27	5	5		
RLC1450W(BK)	1450			100	0.35	6	6		
RLC1800W(BK)	1800			25	0.43	8	8		

※1 Wは白色、BKは黒色の本体色
※2 最大使用可能W数は、LEDモジュール入力電力を使用し、組み合わせたときの値です。

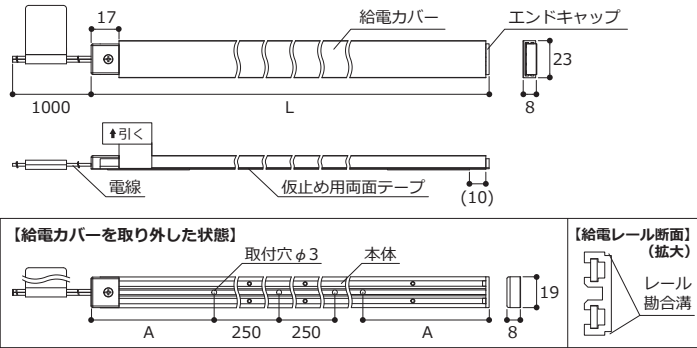
ミニレールスポットR-EX (別売) 入力電圧 DC24V

形式※3	本体質量 (kg)	入力電流 (A)	入力電力 (W)
R-EX1□W(B)B	0.02	0.05	1.2
R-EX2□W(B)B	0.04	0.08	1.9
R-EX3□W(B)B	0.03		

※3 形式の□は色記号(2は4000K、4は3000Kの色温度相当)、Wは白色、Bは黒色の本体色、末尾のBは20°の1/2ビーム角を表します。

各部の名称と外形寸法

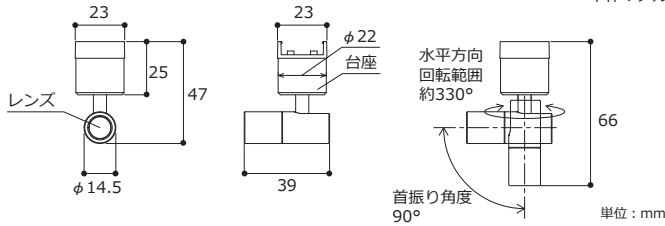
給電レール RLC



本体: ポリカーボネート(白色/黒色)
 付属品: 取付ねじ(低頭タッピングネジ 3×16mm) 3~8ヶ
 レール留め具 3~8ヶ
 給電レールカバー(出荷時、本体に装着) 1本
 端部処理用エンドキャップ 1ヶ

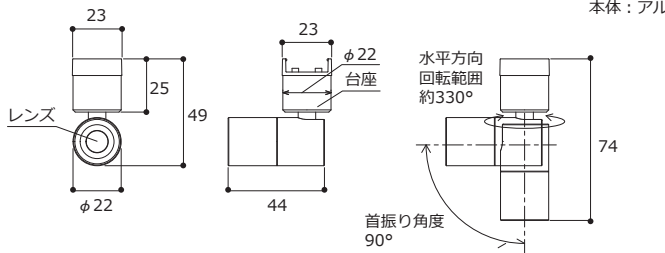
ミニレールスポット R-EX1□W(B)(別売)

本体: アルミ(白色/黒色)



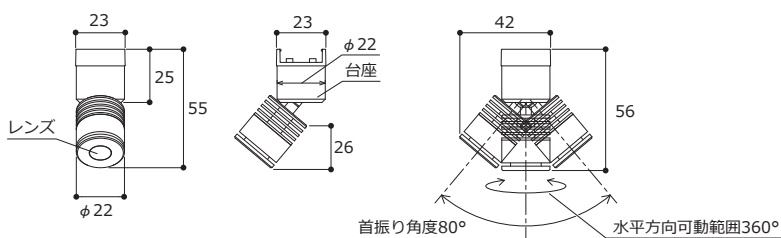
ミニレールスポット R-EX2□W(B)(別売)

本体: アルミ(白色/黒色)



ミニレールスポット R-EX3□W(B)(別売)

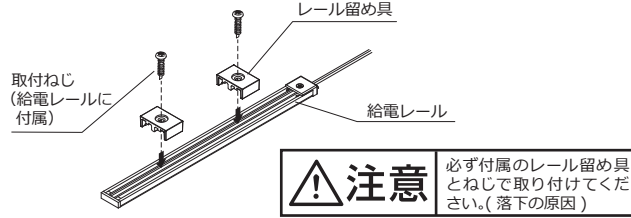
本体: アルミ(白色/黒色)



取付方法

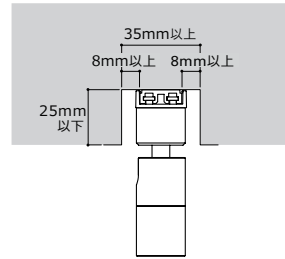
1. 給電レールの取り付け (図を参照)

- 給電レール端部のフィルムを引っ張って給電レールカバーを外してください。
- 給電レールに約250mm間隔でレール留め具を取り付けてください。
- 給電レール背面のテープの剥離紙をはがし、付属の取付ねじで確実に固定してください。

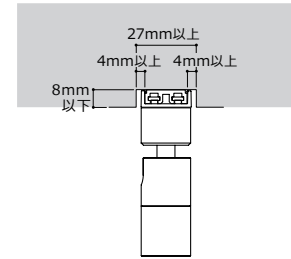


<埋め込む場合の最小施工寸法>

半埋め込み

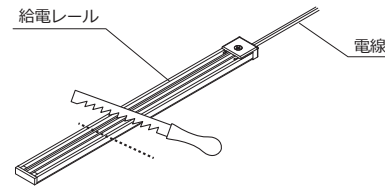


給電レールのみ埋め込み



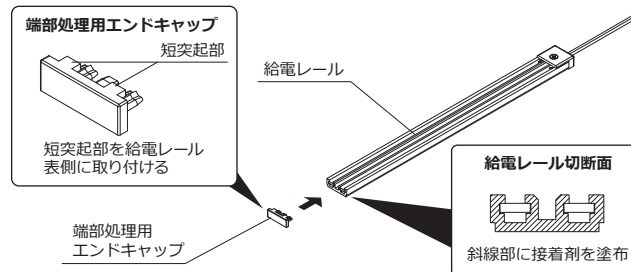
●給電レールの長さ調整方法

- 給電レールの切断
 給電レールは鋸などの切断工具を使用して切断し、切断部のバリを除去してください。
 注意)電線側を切断しないでください。



②端部処理用エンドキャップの取り付け

- 給電レールの切断面に推奨接着剤(東亜合成(株)製アロンアルファEXTRA4020、別途必要)を十分に塗布して端部処理用エンドキャップを取り付けてください。(エンドキャップの向きに注意)
- 端部処理用エンドキャップが給電レールに隙間なく確実に装着されていることを確認してください。

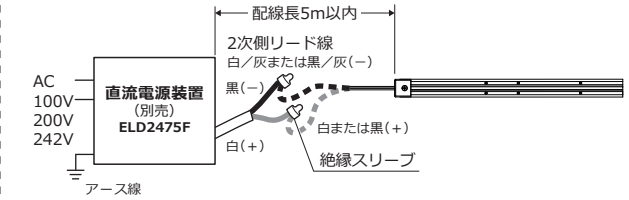


2. 直流電源装置(別売)の接続

※必ず電源を切ってください。

直流電源装置の取り扱いについては、製品の取扱説明書をご覧ください。

- 直流電源装置ELD2475Fを使用し正しく接続してください。
- 延長配線する場合は、0.5mm²以上の電線をご使用ください。



3. ミニレールスポット(別売)の取り付け (図を参照)

- 台座を持って給電レールのレール勘合溝へ嵌め込んで装着してください。
- ミニレールスポットを照射したい角度に調整してください。
- 取り外すときは、台座を持って給電レールと垂直方向へ倒してレール勘合溝から外してください。

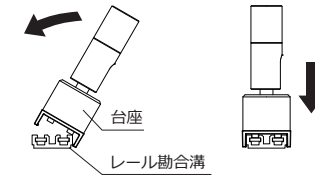
注意) LEDモジュールを無理な力で押し込んだり、外さないでください。

注意) 可動部を無理な力で可動させないでください。

注意) レンズを押し込まないでください。

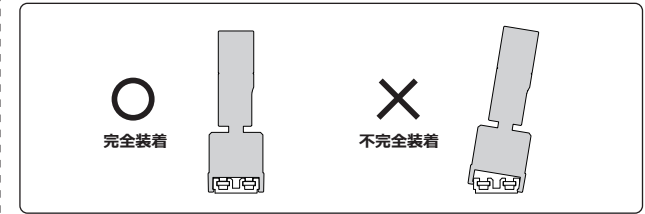
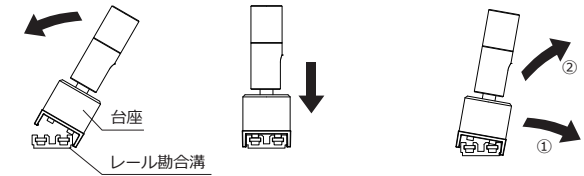
<ミニレールスポットの取り付け>

- ① 引っ掛けて
- ② 押し込む



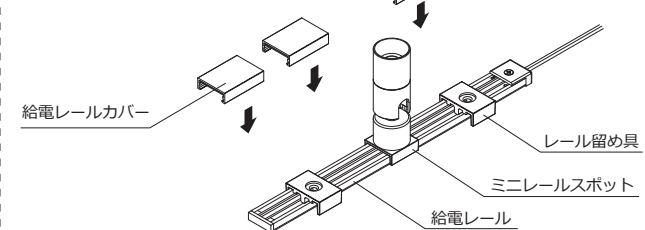
<ミニレールスポットの取り外し>

- ① レールと垂直に倒して
- ② レールと水平に傾けながら引く



4. 給電レールカバーの取り付け

給電レールカバーを給電レールの開口部の長さに合わせて、モールカッター等で切断して、取り付けてください。



5. 電源の供給

全ての作業が完了しましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。